八雲町郷土資料館農機類標本台帳

一般名称: 中耕培土機

現地の通称: 片サクリ

資料種別: ◉ 製品-実物 ○ 製品-レプリカ ○ 製品-模型 ○ 製品図面 ○ 写真等 ○ 図書掲載 ○ その他

資料種類: ☐ 人力用具 ☐ 手押式 ☐ 耕耘用 ☐ 調製用
☒ 畜力用具 ☐ 乗用式 ☐ 施肥播種 ☐ 施設類
☐ 原動機具 ☒ 牽引式 ☒ 管理用 ☐ 機素
☐ トラクタ具 ☐ 定置式 ☐ 収穫用 ☐ その他

管理プレートNo.

台帳No. Y140

相手先番号等

統一分類記号

製作者・会社: 不明

製造市・国名

製造年_購入年,標本収集年

使用目的・使用方法等

1頭曳中耕培土機、1897(明治30)年に伊達紋別　黒川敬造が発明と伝わる。
馬鈴薯や玉蜀黍用のレバーシブル1頭引き中耕機である。全体写真のように前後対称に付けられた小型プラウの一方を使って畦間を進行しつつ中耕培土をし、畦端に達すると犂柱上端のロックをはずし、地上に置いたまま牛馬を旋回させて同一畦に入れると、自動的に反対側の小型プラウで中耕培土でき、作業が簡便になるアイデア製品である。

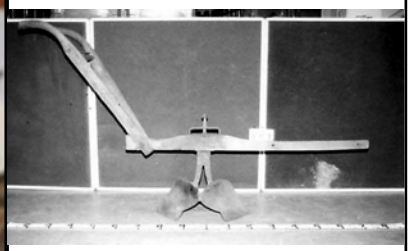
利用経過収集記録意義等

未調査

仕様書_解説等

右に全体図

未調査
他標本から作業幅160mm、前後対称2連
全幅420mm、全高780mm、全長1600mm
全体図1：2014年調査時
2：1985年調査時
関連図1：作業部拡大
2：反転機構＝培土刃をつけた軸がビームを貫通し、その上に付くカスガイ状の装置がビーム上の穴に刺さって固定。旋回時は固定装置を穴から外し、馬・御者・ビームのみを旋回させる



外観特色関連図等

資料の所在

展示場付属倉庫

資料追記事項

資料管理経過

作業メモ追記文

農業機械学会北海道支部「農機DB作成委員会編